

現状分析

A=たいへん良い B=良い C=一部検討を要する D=改善を要する

項目	内容	評価
管理	①保育所の保育理念を明示している	A
	②保育所の運営指針を明示している	A
	③運営方針に職員が参加し意見が取り入れられている	A
	④職員の業務、役割が明確になっている	A
	⑤会議等が定期的に行われている	A

評価	①保育所における職員の評価指針が明示できる	A
	②保育所の運営等に職員の意見が反映されている	A
	③自己評価作成に職員の意見が反映されている	A
	④評価を交えて職員と個別に話す用意がある	A
	⑤職員が主体的に発言する雰囲気がある	A

教育	①保育士の倫理や価値を明示し理解を促している	A
	②新人職員の育成計画が明確である	A
	③職員の課題が具体的であり相互に理解している	A
	④職場内で新たな知識や技術を学ぶ雰囲気がある	A
	⑤ケースカンファレンスが随時開かれている	A

支援	①職員一人一人を支えようとする意識がある	A
	②職場の人間関係を活性化する配慮がなされている	A
	③職場のストレスが理解され支えられている	A
	④職員の自己成長の過程を支えようとしている	A
	⑤職員と定期的な話し合う用意がある	A

保育園の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価
保育目標	①目標の具現化に向けて実態に踏まえた重点目標を設定している	A
	②目標は各施設や地域の特色を生かしている	A
	③目標は社会のニーズや要求、保護者の願いを反映している	A
	④目標は前年度の反省を生かしている	A
	⑤目標は全職員で共通理解を図っている	A
保育内容	①指導計画は乳幼児の実態に即して作成している	A
	②保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている	A
	③環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している	A
	④素材・用具を適切に活用している	A
	⑤評価結果をもとに保育の改善に努めている	A
行事	①行事の種類や実施回数は適切か	A
	②行事のねらいや計画を実施に十分に生かしている	A
	③計画・実施・評価・改善の体制をとっている	A
	④保護者の願いや意見を取り入れている	A